

令和7年1月29日

相馬方部衛生組合管理者
相馬市長 立谷 秀清 様

公立相馬総合病院経営強化プラン評価委員会
委員長 只野 裕一

令和5年度「公立相馬総合病院経営強化プラン」進捗・達成状況点検評価報告書

令和6年10月2日、12月4日及び令和7年1月29日に委員会を開催し、公立相馬総合病院経営強化プラン(以下「経営強化プラン」という。)の令和5年度進捗及び達成状況について点検評価を実施したので、その結果を次のとおり報告します。

記

1 令和5年度公立相馬総合病院事業決算状況(消費税抜額表示)

令和5年度公立相馬総合病院事業収益的収支の決算は、病院事業収益3,837百万円、病院事業費用4,104百万円となったことから、差し引き267百万円の純損失を計上した。

この決算状況を経営強化プランの令和5年度収支計画と照合すると、病院事業収益については収入見込額3,892百万円に対し収入額が55百万円減少したこと及び病院事業費用については支出見込額4,034百万円に対し支出額が69百万円増加したことにより、124百万円の乖離となった。

なお、経営強化プランの収入・支出見込額と実績額の主なる乖離理由は、次のとおりであった。

(病院事業収益)

- (1) 医業収益のうち入院収益は1,959百万円と見込んだが、入院患者一日当り単価は見込額を上回ったものの入院延患者数が見込数を下回ったことから、169百万円の減収となった。
- (2) 医業収益のうち外来収益は1,204百万円と見込んだが、外来患者一人当り単価は上回ったものの外来延患者数が見込数を下回ったことから、64百万円の減収となった。
- (3) 医業外収益のうち国県補助金は11百万円と見込んだが、新型コロナウイルス感染症患者病床確保支援事業補助金等新型コロナウイルス感染症関連補助金の交付があったことから176百万の増収となった。

(病院事業費用)

- (1) 医業費用のうち医師職員を含む職員給与費は2,136百万円と見込んだが、看護職員給与費が支出見込額を上回ったこと等により、23百万円の増加となった。
- (2) 医業費用のうち材料費は735百万円と見込んだが、薬品費、診療材料費ともに支出見込額を上回ったことから、39百万円の増加となった。

2 経営強化プラン数値目標の実績

- (1) 経営強化プランに設定した令和5年度医療機能等指標及び経営指標の目標値並びに実績値は、次のとおりであった。

① 医療機能等指標

	5年度(目標値)	5年度(実績値)	比 較
救急患者受入数(人)	6,500	6,080	▲420
新規入院患者受入数(人)	3,300	3,048	▲252
手術件数(件)	850	824	▲26
リハビリ実施数(単位)	19,000	16,792	▲2,208
紹介患者数(人)	3,100	2,756	▲344
逆紹介患者数(人)	3,200	2,722	▲478
臨床研修医採用数(人)	5	5	—
地域医療研修受入数(人)	5	4	▲1

② 経営指標

	5年度(目標値)	5年度(実績値)	比 較
経常収支比率(%)	96.5	93.9	▲2.6
医業収支比率(%)	88.4	81.0	▲7.4
修正医業収支比率(%)	85.5	78.2	▲7.3
資金不足比率(%)	0.0	0.0	—
1日当たり入院患者数(人)	122.0	104.7	▲17.3
1日当たり外来患者数(人)	420.0	380.0	▲40.0
入院患者1日当たり収益(円)	44,000	46,717	2,717
外来患者1人当たり収益(円)	11,800	12,347	547
病床利用率(%)	74.2	63.8	▲10.4
職員給与費に対する修正医業収益比率(%)	65.7	71.7	6.0
診療材料費に対する修正医業収益比率(%)	10.9	12.2	1.3

薬品費に対する修正医業収益比率 (%)	11.6	13.4	1.8
------------------------	------	------	-----

(2) 指標ごとの数値目標未達成要因

経営強化プランに設定した医療機能等指標及び経営指標の令和5年度目標値が達成できなかった主な要因は、次のとおりであった。

① 医療機能等指標

医療機能等指標の令和5年度目標値は、各指標算定の基礎となる入院・外来患者が見込患者数を下回ったこと等によりそれぞれの数値目標を達成できなかった。

② 経営指標

ア 経常収支比率

経常収支比率は目標値を2.6%下回ったが、これは、医業収益における入院収益及び外来収益の減少並びに医業費用における職員給与費及び材料費の増加等により目標値を達成できなかった。

イ 医業収支比率

医業収支比率は目標値を7.4%下回ったが、これは、医業収益において入院収益及び外来収益が減少したこと並びに医業費用において職員給与費及び材料費が増加したこと等により目標値を達成できなかった。

ウ 修正医業収支比率

修正医業収支比率は目標値を7.3%下回ったが、これは、医業収益において入院収益及び外来収益が減少したこと並びに医業費用において職員給与費及び材料費が増加したこと等により目標値を達成できなかった。

エ 一日当たり入院患者数

一日当たり入院患者数は目標値を17.3人下回ったが、これは、内科、外科、整形外科、小児科、泌尿器科それぞれの診療科において経営強化プラン見込患者数を下回ったことにより目標値を達成できなかった。

オ 一日当たり外来患者数

一日当たり外来患者数は目標値を40.0人下回りましたが、これは、内科、整形外科、皮膚科の受診患者数が経営強化プラン見込患者数を下回ったこと等により目標値を達成できなかった。

カ 病床利用率

病床利用率は目標値を10.4%下回ったが、これは、内科、外科、整形外科、小児科、泌尿器科それぞれの診療科において経営強化プラン見込患者数を下回ったこと等により目標値を達成できなかった。

キ 修正医業収益比率

(a) 職員給与費

職員給与費に対する修正医業収益比率は目標値を6.0%上回ったが、これは、指数算定上分子となる職員給与費の増加及び指数算定上分母となる医業収益の減少により目標値を達成できなかった。

(b) 診療材料費

診療材料費に対する修正医業収益比率は目標値を1.3%上回ったが、これは、

指数算定上分子となる診療材料費の増加及び指数算定上分母となる医業収益の減少により目標値を達成できなかった。

(c) 薬品費

薬品費に対する修正医業収益比率は目標値を 1.8% 上回ったが、これは、指数算定上分子となる薬品費の増加及び指数算定上分母となる医業収益の減少により目標値を達成できなかった。

3 点検評価の総括

点検評価に先立ち、事務局から別添【資料 1】により令和 5 年度「公立相馬総合病院経営強化プラン」の取組状況について説明を受けた。

また、【資料 2】により経営強化プランの着実な実施を図るため、令和 5 年 9 月に設置した「経営強化プラン推進委員会」の令和 5 年度活動状況について説明があった。

次に、取組状況等の説明を受けて各委員から提起された病院事業についての意見及び改善を望む事項等に対する病院としての対応方針等は、【資料 3】のとおりであった。

以上の審査過程を経て、令和 5 年度経営強化プランの進捗及び達成状況について慎重に審査した結果、当委員会としての点検評価意見は次のとおりです。

令和 5 年度においては、新型コロナウイルス感染症は沈静化したものの、前年度に比較し入院・外来患者とも減少したことが大きく影響し、令和 5 年度医療機能等指標及び経営指標の数値目標のほとんどが達成されなかった。

そして、入院・外来患者数の減少を受けて、令和 5 年度収益的収支決算は前年度の黒字決算から赤字決算に転落し、何らかの対応を必要とする経営状況に陥っている。

しかし、このような状況にあっても、公立相馬総合病院は、当地域の基幹病院として、今後も継続して地域が求める医療サービスを提供しなければならない使命を有することを再認識し、「経営強化プラン推進委員会」の活動を中心に経営強化プランに定める各種施策に病院職員が結集して取組み、患者サービスの向上と経営体質の強化に努めるよう強く望むものであります。

加えて、点検評価に際し、各委員から出された意見・要望等についても、今後の病院運営方針の決定に当たり留意してください。